

懐徳堂印章展示

懐徳堂文庫には、200を超える印章とその印譜が残っています。江戸時代の印章がこのように数多くとまって残っているのは、稀有な例でしょう。

この電子展示では、その中から15点を選び、公開します。これまで、印章資料が公開されるという場合、ほとんどはその印面が紹介されるにすぎませんでした。

そこでこの電子展示では、印の全体を閲覧することができるように配慮しました。特に、3D画像では、印をマウス操作で回転させ、あらゆる角度から確認することができます。もちろん印面についても、「押印」ボタンをクリックすることによって鮮明な画像をみることができます。

印章という小宇宙に刻まれた懐徳堂の精神をご覧ください。



懐徳堂の小宇宙
— 懐徳堂印章展示 —

懐徳堂文庫には、200を超える印章とその印譜が残っています。江戸時代の印章がこのように数多くとまって残っているのは、稀有な例でしょう。

この電子展示では、その中から15点を選び、公開します。これまで、印章資料が公開されるという場合、ほとんどはその印面が紹介されるにすぎませんでした。

そこでこの電子展示では、印の全体を閲覧することができるように配慮しました。特に、3D画像では、印をマウス操作で回転させ、あらゆる角度から確認することができます。もちろん印面についても、「押印」ボタンをクリックすることによって鮮明な画像をみることができます。

印章という小宇宙に刻まれた懐徳堂の精神をご覧ください。

- 3D 版 印章展示
この電子展示では、3D版の印章を閲覧することができます。
- Flash 版 印章展示
この電子展示では、Flash版の印章を閲覧することができます。

押印

回転

360°、自由に回転

拡大

懷徳堂の小宇宙 懷徳堂印章展示

各印の解説・法量などは、各印画面の右上に表示されます。このコンテンツは、文化庁委嘱「懷徳堂文庫貴重資料のデジタル・アーカイブ化に関する研究」、および大阪大学文学研究科共同研究「懷徳堂の書と印章」による研究成果の一部です。

参考：湯浅邦弘「懷徳堂の小宇宙—懷徳堂印の研究—」（『中国学の十字路』、研文出版、2006年）（懷徳堂センター委員 湯浅邦弘）

<p>001 「幽人・処父」「水哉」両面印</p>  <p>中井履軒印。 連印かつ両面印である。 紐は中国古代の青銅貨幣「布銭」の形にもとづく。連印の印文「幽人」は履軒の号。「処父」は履軒の字「処叔」にちなむ。反対面の印文「水哉」は履軒が懷徳堂を離れて開設した私塾「水哉館」にちなむ。「水哉」は「孟子」のことば。 ◇印面 (横) 1.7cm×1.6cm (連・ともに) 半円高さ1.4cm×底辺1.6cm (全体) 3.3cm×1.6cm ◇印紐 5.3cm×3.4cm×1.6cm (穴) 直径0.3cm ◇重量 65g</p>	<p>002 「処」象紐陶印</p>  <p>中井履軒印。 紐は当時大坂で話題になった象をかたどる。陶製。 印文の「処」は履軒の字「処叔」にちなむ。 ◇印面 4.3cm×4.1cm ◇印紐 5.3cm×4.0cm×4.8cm ◇重量 93g</p>	<p>003 「積徳之印」「処」子母印</p>  <p>中井履軒印。 二つの印を入れ子にした子母印。 大の印文「処」は履軒の字「処叔」にちなむ。小の印文「積徳之印」の「積徳」は履軒の名。 ◇印面 (母) 2.8cm×2.8cm (子) 2.1cm×2.0cm ◇印紐 (母) 2.8cm×2.8cm×2.8cm (子) 3.5cm×2.0cm×2.1cm (合) 高さ5.0cm ◇重量 (母) 15g (子) 5g (合) 20g</p>
<p>004 「我思古人」兔紐銅印</p>  <p>中井履軒印。 紐は兔の形をかたどる。 印文は「我思古人」。 ◇印面 2.5cm×1.8cm ◇印紐 3.2cm×1.8cm×2.5cm ◇重量 52g</p>	<p>005 「曾弘」「伯毅」鼠紐銅連印</p>  <p>中井蕉園印。 紐は鼠の形をかたどる。 印文「曾弘」「伯毅」の連印。「曾弘」は蕉園(中井竹山の子)の名。「伯毅」は字。 ◇印面 (曾) 1.1cm×1.7cm (伯) 1.1cm×1.7cm (全体) 2.5cm×1.8cm ◇印紐 2.5cm×1.8cm×3.7cm ◇重量 52g</p>	<p>006 「懷徳堂長」蛙紐銅印</p>  <p>中井竹山印。 紐は蛙の形をかたどる。 前川虚舟篆刻の銅印。 印文の「懷徳堂長」は懷徳堂の学主をあらわす。 ◇印面 2.4cm×2.5cm ◇印紐 3.0cm×3.3cm×3.0cm ◇重量 65g</p>
<p>007 「曾弘」蛙紐銅印</p>  <p>中井蕉園印。 紐は蛙の形をかたどる。 印文の「曾弘」は蕉園(中井竹山の子)の名。 ◇印面 1.9cm×1.2cm ◇印紐 2.2cm×1.2cm×1.9cm ◇重量 25g</p>	<p>008 「積徳之印」「幽人之貞」水晶両面印</p>  <p>中井履軒印。 紐は水晶で両面印。 印文の「積徳之印」の「積徳」は履軒の名。反対面の印文「幽人之貞」の「幽人」は履軒の号。『周易』履卦の九二の爻辞に「履道坦坦、幽人貞吉」とある。 ◇印面 (積) 1.9cm×1.9cm (幽) 1.9cm×1.9cm ◇印紐 2.0cm×1.9cm×1.9cm ◇重量 20g</p>	<p>009 「処父」四天王寺古瓦印</p>  <p>中井履軒印。 紐は四天王寺の古瓦による。 印文の「処父」は履軒の字「処叔」にちなむ。 ◇印面 2.2cm×2.8cm ◇印紐 4.4cm×2.8cm×2.8cm ◇重量 69g</p>
<p>010 「水哉」玻璃印</p>  <p>中井履軒印。 紐は玻璃(ガラス)製。 印文の「水哉」は履軒が懷徳堂を離れて開設した私塾「水哉館」にちなむ。「水哉」は「孟子」のことば。 ◇印面 (長径×短径) 3.1cm×2.6cm ◇印紐 5.6cm×2.9cm×3.3cm ◇重量 88g</p>	<p>011 「水」「哉」陶連印</p>  <p>中井履軒印。 紐は陶製で象をかたどる。 印文「水」「哉」の連印。「水哉」は履軒が懷徳堂を離れて開設した私塾「水哉館」にちなむ。「水哉」は「孟子」のことば。 ◇印面 (水 半円) 高さ1.6cm×底辺2.4cm (哉) 2.0cm×2.5cm (全体) 4.0cm×2.5cm ◇印紐 3.3cm×2.5cm×4.0cm ◇重量 37g</p>	<p>012 「漢委奴国王」蛇紐銅印</p>  <p>中井履軒印。 紐は銅製で蛇の形をかたどる。 有名な「漢委奴国王」の金印を擬した印。 ◇印面 2.4cm×2.5cm ◇印紐 3.4cm×2.5cm×2.5cm ◇重量 88g</p>
<p>013 「天子知名」亀紐陶印</p>  <p>中井竹山印。 紐は亀の形をかたどる。 前川虚舟篆刻の銅印。 光格天皇(在位1780~1817年)が宮中で竹山・履軒の名を話題にされたことを、儒家の光栄であるとして、前川虚舟が贈ったもの。印文の「天子知名」とは、「天皇が名前をご存知である」の意。 ◇印面 3.2cm×2.1cm ◇印紐 2.7cm×2.1cm×3.3cm ◇重量 20g</p>	<p>014 「君玉」銅印</p>  <p>中井蕉園印。 紐がめずらしい形をした銅印。 袖園は履軒の第二子。印文の「君玉」はその字。 ◇印面 (長径×短径) 2.8cm×2.0cm ◇印紐 2.7cm×2.0cm×3.3cm ◇重量 30g</p>	<p>015 「伯」「毅」銅連印</p>  <p>中井蕉園印。 銅製で手鏡の形をした紐。 印文「伯」「毅」の連印。「伯毅」とは蕉園(中井竹山の子)の字。 ◇印面 (伯) 半円 高さ1.0cm×底辺1.1cm (毅) 半円 高さ1.2cm×底辺1.1cm (印面全体長径×短径) 2.4cm×2.0cm ◇印紐 (収納時) 4.4cm×2.8cm×0.3cm (使用時) 3.4cm×2.0cm×2.8cm ◇重量 20g</p>

WEB懷徳堂からの新たな情報発信

WEB懷徳堂に新たな電子展示の2つのコンテンツが加わりました。

- 懷徳堂の小宇宙—懷徳堂印章展示—
- 絵図面で見える懷徳堂の歴史—懷徳堂絵図屏風展示—
 - ①では懷徳堂文庫に残されている江戸時代の印章を、また、②では懷徳堂の大屏風を閲覧することができます。立体資料や巨大な資料をインターネット上でどのように効果的に披露するか、研究を重ねてきました。その成果をご覧ください。懷徳堂は、2004年(平成16)から文化庁の委託を受けて、デジタルアーカイブ化の事業を進めています。大阪大学文学研究科や附属図書館とも連携して、今後も、新コンテンツの提供につとめていきたいと考えています。



各コンテンツへ